

**大原富枝** 小説家。結核による長い闘病生活の後、生家の没落を機に上京し、生涯にわたって話題作を書き続けた。

おおはらとみえ

**明治天皇没**・1912 = 高知県長岡郡吉野村(現本山町)で、次女に生まれる。

**原敬首相暗殺**1921 = **9歳** :

**関東大震災**・1923 = 11歳 : 母が死去。

金融恐慌・・1927 = 15歳 : 高知女子師範学校に入学。

海軍軍縮条約1930 = **18歳** : 学校で咯血し、入院。中退し、退院後も自宅療養、

**満州事変**・・1931 = 19歳 :

国際連盟脱退1933 = 21歳 : 初めて投稿、

結核による長い闘病生活の後、

**日中戦争始**・1937 = 25歳 :

健保+総動員 1938 = 26歳 : 「姉のプレゼント」が{令女界}で入選し、{文藝首都}に発表の「祝出征」が芥川賞候補になり、

第二次大戦始1939 = **27歳** :

**日米開戦**・・1941 = 29歳 : 生家の没落を機に、創作に専念するため、上京し、{文芸首都}同人として文学修業、

年金+総武装 1944 = 32歳 : 帰郷し、野中婉の書簡を写すため、県立図書館に通う。

**敗戦**・・・1945 = 33歳 :

戦後も、病いを抱えた身で生計のために働きつつ小説を書き続け、

極東裁判決・1948 = **36歳** :

**独立回復**・・1951 = 39歳 :

なべ底不況・1957 = **45歳** : 父が急逝。\*「ストマイつんぼ」で女流文学者賞を受賞。

美智子妃・・1959 = 47歳 : 「婉という女」を脱稿、

**安保闘争**・・1960 = 48歳 : 刊行し、毎日出版文化賞、野間文芸賞。

全国総合計画1962 = 50歳 : 「悪名高き女」、

TV宇宙中継始1963 = 51歳 : 日本文芸家協会代表として、中国訪問。

大学紛争始・1965 = 53歳 : 日本文芸家協会代表として、日ソ文学シンポジウムに出席。

いざなぎ景気1966 = **54歳** :

**全共闘ピーク**・1969 = 57歳 : 「於雪 土佐一条家の崩壊」を刊行し、

**大阪万博**・・1970 = 58歳 : \*女流文学賞を受賞するなど、話題作を発表。

**石油ショック**1973 = 61歳 : 「婉という女」のロシア語訳が、ソビエト作家同盟で刊行される。

ケアルーム事件1975 = **63歳** :

田中角栄逮捕1976 = 64歳 : カトリックの洗礼を受ける。

JALハイジャック・1977 = 65歳 : 「信従の海」、

**中曽根内閣**・1982 = 70歳 :

ディズニーランド 1983 = 71歳 : 「地上を旅する者」、

・・・・1984 = **72歳** :

**ドイ統一**・・1990 = 78歳 : 勲三等瑞宝章。

**55年体制終**・1993 = **81歳** :

・・・・1998 = 86歳 : \*芸術院賞恩賜賞を受け、芸術院会員となるが、

・・・・2000 = 88歳 : \*「小説・牧野富太郎」を連載中、心不全で没した。

インターネットWikipedia、